

赤山地下壕は入場無料
(要受付)。10～16時、
第3火(祝は翌)休。
宮城192-1 ☎0470・
24・1911

地下壕のある赤山の裏
手にひっそりと佇むコ
ンクリートの掩体壕。



昭和10年頃のエプロン。
優美このうえない三
式艦上攻撃機が並ぶ。



基地が一般公開される
ヘリコプターフェス
ティバル。SH-60J萌え。

昔も今も関東近海を守る航空拠点 館山航空隊今昔物語

昭和5年に全国で5番目の海軍航空隊として開隊、艦上戦闘機や艦上攻撃機、水上偵察機などの拠点となった。周辺には航空廠や軍需部などさまざまな関連施設がつくられ防空壕も数多く残る。市史跡の赤山地下壕もそのひとつ。総延長約1.6kmと比較的大きな壕で、映画『ひめゆりの塔』のロケにも使われたという。旧軍の主要施設は海自が引き継いだ。10月1日9～15時は「ヘリコプターフェスティバル in Tateyama」。陸海自と海保の各種ヘリ展示や体験搭乗が楽しめる。蛇足だが正門そばのコンビニは季節になるとカツオ漁の船員で賑わう。館山がえさ・イワシの補給地だからだ。■■■■館山駅から徒歩20分。館山市宮城 ☎0470・22・3191 (海自館山航空基地広報室)



旧海軍の元修理工場。
英字は最近CFロケのため
に描かれたもの。

日本森林浴百選の美しい森で工作体験 館山野鳥の森

片道15分で登れる展望台の往復から2時間30分の探鳥道まで、さまざまなコースを選んで森が散策できる。ふれあい野鳥館には本格的なジオラマ展示がありナイトスコープで覗く夜の森コーナーは肝試しの趣。夏休み中は毎週末に「木彫りの小鳥を作ろう」(1050円～・要予約)などのイベントを開催。■■■■館山駅から安房神戸回り白浜行きバス「安房神社前」下車徒歩7分。入園無料。9時～16時30分、無休。館山市大神宮553 ☎0470・28・0166

ふれあい野鳥館で
の森の素材工作体
験(500円)。予約
なしで随時できる。



四カ国語で平和を祈念 大巖院四面石塔

豊臣秀吉の野望で起きてしまった文禄・慶長の役(朝鮮出兵)を踏まえ、元和10年(1624)に雄誉靈巖上人が建立した玄武岩製の名号石塔。4つの面に和風漢字、インドの梵字、中国の篆字、朝鮮のハングルで「南無阿弥陀仏」が刻まれた大変めずらしいもの。県指定有形文化財。■■■■館山駅から徒歩25分。拝観自由。館山市大綱398



ビルマ文字のような形のハングル。15世紀頃まで使われていた古いタイプの表記という。

海を望んで横たわる世界最大級の涅槃仏 常楽山萬徳寺

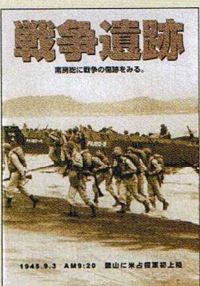
小高い丘の頂上に横たわる全長16m・重さ30tのガンダーラ様式青銅製涅槃仏に、サリー姿の「香天女」に導かれ、足裏に刻まれた紋に頭をつける右繞三匝(うぎょうさんそう)というインドの礼法でお参り。この礼法ができるのは日本ではここだけで、在日チャンマー人やネパール人の参拝も多いとか。■■■■館山駅から安房神戸回り白浜行きバス「安房神戸」下車徒歩3分。拝観500円。9～17時、無休。館山市洲の宮1571 ☎0470・28・2013



線香を5本供え、裸足で螺旋状の台座を右回りに3周して足元へ。

館山周辺の歴史を紐解く お散歩副読本

中世南総の里見氏にまつわる虚実こもごもの話と、昭和の海軍航空隊については下調べするとより楽しい。NPO法人「南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム」が出版する『あわ・がいで』シリーズからご当地本2冊を紹介。里見氏関係が丸わたりの『房総里見氏』、旧軍の航空隊や砲台跡などをまとめた『戦争遺跡』各600円。市内松田屋書店、宮沢書店でどうぞ。そっぴや館空の話は艦攻撃の原典と読みづらいため訳本が無難。『現代語訳南総里見八犬伝』(河出文庫・曲亭馬琴作・白井喬二訳 上下各1260円)。



表紙は終戦後館山で本土唯一の直接軍政を行った米占領軍の航空隊上陸風景。



里見氏にまつわる城跡や神社などをオールカラー32頁で紹介。6月の新刊。



おおとの物語はおさえよう。7月22日一周忌の杉浦日向子さんも読んではず。

もうちよいちよい旅

この3月に7町村が合併して誕生した南房総市が館山市包囲網の趣なのはさておき、南房総といえは里見八犬伝。八犬伝にちなんだ犬名所とあわせ、愛らしい猫づくしのスポットを世の犬猫好きのためにご紹介。犬猫ではないが意外な情報をおひとつ。千倉町千田が名俳優・早川雪洲の出身地。かつて観光名所だった生家跡がある。



歌川国貞・国芳らの浮世絵や人形など16枚500円とお買い得な絵はがき「八犬伝物語」。市立博物館でお求めを。

八房と彼に乳をやったタヌキ像。南房総市犬掛の八房生誕地にある。

八房はこわカワイイ大型犬

南総里見八犬伝めぐり ●岩井ほか



富山の麓にある伏姫籠穴。作り話なのに史跡のように扱われている。

江戸時代に滝沢馬琴が書き大ヒットした長編小説「南総里見八犬伝」。今なお人気が高く何度も舞台化・映画化されている。なかでも大成功を取めたのが昭和48年4月から2年間NHKテレビで放送された人形劇「新八犬伝」。こちらは八犬伝に「椿説弓張月」をミックス。玉梓（たまずさ）の妨害などを乗り越え、伏姫ゆかりの玉を持つ八犬士が集まり主君に尽くす物語。坂本九の語りで「魍魎魍魎」「仁義礼智忠信孝悌」なんて難しい言葉を小学生の頭に叩き込んだ偉大な番組だ。全464話中現存は3話のみのビデオと辻村ジュサプロー作の人形3体は、市立博物館分館で拝観可。ゆかりの地めぐりとあわせてぜひ。

■■■■岩井駅から伏姫籠穴まで徒歩30分。見学自由。



滝田城址の伏姫像。コミック「めぞん一刻」の犬娘・九条明日菜っぽい。

6年前に竣工した新拝殿。石柱の寄進者名に注意。



日本で唯一料理の祖神を祀る

高家(たかべ)神社 ●千倉

磐鹿六雁命(高倍神)を主祭神に祀り、調理関係者や味噌醤油などの醸造業者などの信仰を集める。現在地に祀られたのは元和6年(1620)。毎月17日の庖丁供養祭や、年2回(10月17日・11月23日)の古式に則った庖丁式が見もの。■■■■千倉駅から徒歩30分(バスあり)。境内自由。南房総市千倉町南朝夷164 ☎0470・44・5625

「新八犬伝」で八犬士が勢揃いした古刹

那古観音 ●那古船形

養老元年(717)創建の坂東三十三観音の結願礼所。観音堂は全面修復工事中だが、床下の構造など今だからこそ見られる部位も多々ある。スダシイ、タブノキ、ヤブニッケイなどが混生する自然林に覆われた標高82.7mの那古山にあり、伽藍を経由して30分ほどで周囲できる散策コースはおすすめ。NHK「新八犬伝」の八犬士勢揃いの場所としても有名。■■■■那古船形駅から徒歩7分(館山駅からバスあり)。境内自由。館山市那古1125 ☎0470・27・2444



宝暦11年(1761)築の多宝塔。観音堂とともに県指定有形文化財。

丸亀は平柄、京都は差し柄、房州は丸柄

丸山一郎商店 ●那古船形

豊富に産出される篠竹を生かした丈夫な丸柄が特徴の房州うちわ。漁師の家などの内職で大正の頃から盛んになったうちわづくり。最盛期は業者が40軒、内職1000名で年産800万本だったが、七輪やかまどを使わなくなり現在は7軒70名40万本ほど。需要は減ったものの伝統工芸として認知されて県指定伝統的工芸品、国伝統的工芸品に。■■■■那古船形駅から徒歩1分。見学は要連絡。館山市船形222 ☎0470・27・2332

「完成には24工程かかるので分業が一般的」と丸山忠弘さん(67)。

